

# おも

## もやいの歩み

9月7日  
おもやいボランティア  
センター開設

9月4日  
チームおもやい  
発足

2020年(令和元年)  
8月28日豪雨災害発生

- 【活動内容】
- ▲ 家屋の清掃
  - ▲ 炊き出しの配食→訪問活動へ被災した家財等搬出作業
  - ▲ 相談事業(建築士・弁護士等)
  - ▲ 子どもの遊び場、サロン活動
  - ▲ 写真洗浄など



たくさんのおもやいボランティアさんが  
県内外から駆けつけてくれました



第1回おもやいフェス



第2回おもやいフェス  
木もくひろば



第3回おもやいフェス  
しめ縄づくり



第4回おもやいフェス  
おもやいカフェ



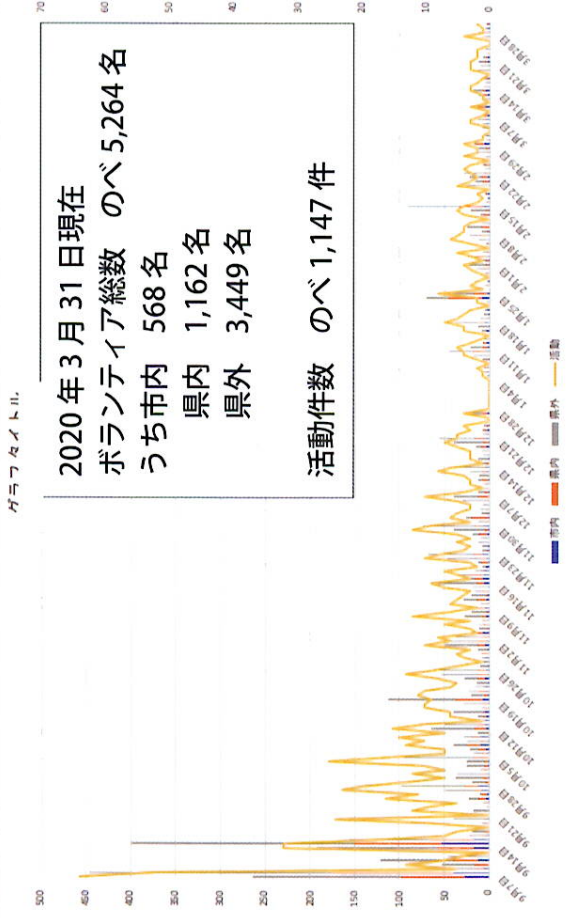
新型コロナウイルス対策のため、  
3月からのボランティア受け入れ  
休止

これからも  
この被災地の  
「復興」  
を目指して...

### 被害状況

全壊	87
大規模半壊	107
半壊	759
一部損壊	24
床上浸水	773
床下浸水	4310

### これまでの活動実績



9月7日に民間版のボランティアセンターを設置して以来、県内外からの災害救援 NGO・NPO やボランティアが駆けつけてくださいました。これまでも他の被災地で経験された中から生まれたノウハウを佐賀まで届けていただき、その中からこ佐賀でできる方法を模索しながら活動を継続して参りました。

しかし、9月に発生した台風15号、また続けて10月に発生した台風19号により全国各地で被害が発生し、それによって多くの NGO・NPO はそれぞれの縁のある地へと活動の場を移されていきました。

私たちはその後、地元や近隣のメンバーとともに多くの方から受け継いだ知見やノウハウを活かして、活動を継続して参りました。

災害後、片付けや掃除をどの程度までやればいいのか分からない、どういった制度が使えるのか、そもそも制度の申請はどうしたらいいのか、水害からの復旧について分からないという方が多くいらっしゃる中、3名の建築士スタッフが様々な場面で活躍をしています。

さらには、子どもの遊び場を毎週日曜日開催し、自宅が被災したことや遊びに行くこともままならない子どもたちが遊びにきたり、お迎えにくる親御さんからお子さんの食事に関する健康面の心配事の相談を聞かせてもらったりしながら、提供してもらった野菜をお配りしたりそこからできることを一つ一つ積み重ねて参りました。

暑い時期から寒い時期へと季節が移り変わっていく中、改めて暖房器具や冬の衣類がないことに気づいたり量や床板がまだ塞がれておらず、大工さんや工務

店さんを待っているお宅へ全国から支援していただき提供・購入したコンパネを敷いたり、またライオンズクラブや震災がつなぐ全国ネットワーク、そしてコンパネカンパからのご支援でそれぞれの暮らしに合った暖房器具を提供させていただいたり、対応が続きました。

年が変わりましたが床下の清掃などの対応もあり、さらには3月からは新型コロナウイルスの影響でボランティアの受け入れを一旦停止せざるを得ない状況下、期日までには味を素さんからご提供いただいた冷凍食品を休校になった子どもたちへと配布させていただきましたりと、様々な方々と連携をさせていただきながら活動を継続して参りました。

そして、6月以降の梅雨から迎える雨の時期に少しでも水害の不安を解消するために、避難の計画や備えなどできることを「できるしこ(できる限り)」続けながら「最後の一人までの復興」を目指します。

### これからのおもやい

3月19日、「一般社団法人おもやい」を設立いたしました。恒常的な団体として、今後この地域の「復興」を目指して、活動を継続して参ります！

#### 地域共創事業

- おもやいフェス
- おもやいカフェ
- 子どもの遊び場
- 交流拠点づくり

#### 防災まちづくり事業

- 避難計画づくり
- 防災対策の検討
- 森林整備による防災の取り組みなど

#### 災害救援事業

- おもやいボランティアセンター
- 県内外の災害時におけるネットワークづくり

木もくひろば  
インキュベーションオフィス  
相談業務など  
地域おこしの取り組み

暖房器具・冬服の配布  
コンパネで寒さ対策  
ぼかぼか作戦(越冬支援)

「ここに住んでよかった」と思えるために  
それぞれの「やってみよう」「こんなのがあったら」を実現していきましよう！

